

登録コード	J5490200	開講年度	2026			市民開放授業	
授業科目	医療経済学A					担当教員	増原 宏明
英文授業名	Health Economics A					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限	対象学年	(23カリ対象科目) 経：2年/法：2年
講義室	経法第1講義室			授業区分	講義	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	経法23加(2026改)・応用経済, 経法23加・応用経済						
	専門知識を応用・実践する力として, 計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価, 実験経済学による社会制度の機能の検証, 医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘, 法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証, などのスキルを習得し, 経済の実情に即した政策提言, あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。					専門知識を応用・実践する力として, 医療制度改革の狙いを論理的に批判できるようになる。	
	【2020年度以降加わった対象】専門領域での基礎知識として, 経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして, 経済理論の応用分野として, 金融, 公共政策, 法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで, 専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。					専門領域での基礎知識として, 医療制度を経済学的思考に基づき, 説明できるようになる。	
	経法23加(2026改)・総合法律, 経法23加・総合法律						
	環境問題や, 企業や行政の組織内において, 日々生起する諸問題について, 理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち, 総合的に解決していくことのできる能力を身につける。					経済学分野の思考方法に基づき, 医療制度を説明できるようになり, 医療制度改革の狙いを論理的に批判できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、ライフクリエイター養成コース						
(4)授業の概要	医療経済学は大きく, 制度, 経済理論, 実証研究の3つから成り立ちます。医療には多くの規制がかかるため, 制度を知らなければなりません。次に, 医療制度によって規定されたインセンティブ構造と資源配分の効率性の問題で, これは経済理論によって確認しなければなりません。最後に, 医療制度によって規定され, 経済理論によって予想された行動の有無です。これは実際のデータによって検証しなければなりません。医療経済学Aでは, 3つのうちの制度部分に着目します。医療制度には, 主に需要者側(患者側)に向けられるものと, 供給者側(医療機関側)に向けられるものがあり, 制度也多岐にわたるため, 医療経済学Aでは制度の理解に努めます。前半部分では, 主に患者側に課される医療制度, 医療保険制度を把握します。また同時に後期高齢者制度や介護保険にも触れ, 医療保険と介護保険を構造的に理解します。後半部分では, 主に供給者側に課される医療制度を把握します。診療所と病院の違いから始め, さまざまな病院の分類, 診療報酬制度やDPC/PDPSなども理解します。最後に世界の医療制度を把握して, 今後の医療制度改革を考察します。						
(5)授業計画	第1回 国民医療費の動向 第2回 社会保障と社会保険 第3回 医療保険制度:被用者保険と地域保険 第4回 医療保険制度:一部負担と高額療養費制度 第5回 後期高齢者医療制度 第6回 保険の経済学(保険とモラルハザード) 第7回 介護保険制度:要介護認定と居宅サービス 第8回 介護保険制度:施設サービスと地域密着型サービス 第9回 終末期医療の経済分析, 小テスト 第10回 医療・介護制度の国際比較 第11回 病院と病院機能 第12回 病院と医療スタッフ 第13回 診療報酬制度 第14回 薬価基準 第15回 医療制度改革, 授業アンケート 期末試験						
(6)成績評価の方法	【授業の達成目標】の2番目(総合法律学科は3つ目の前半部分)の達成度を測るために, 基礎的な知識の定着を確認するための論述問題式の小テストを1回行う(40%)。続いて, 【授業の達成目標】のすべての達成度を測るために, 期末試験(60%)。うち30%は1番目で, 30%は2番目の授業の達成目標に対応)を行う。						
(7)成績評価の基準	小テストと同レベルの問題が解ければ「水準にある」, 応用問題が解ければ「やや上にある」, やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」, 難しい応用問題が解ければ「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	予習・復習用の授業レジュメを, eALPSにPDFファイルとしてアップする。各自で印刷するか, ノートパソコンを持参すること。レジュメは穴埋め式となっているので, 予習として1時間かけて穴埋め以外の項目について目を通すこと。講義後には穴埋めされたレジュメを復習し, 授業で説明した概念や経済分析手法を自らの手で再度まとめること(2時間程度)。						
(9)履修上の注意	3年次以降の医療経済学Bは, 医療経済学Aを前提にした授業を行います。医療経済学Bの履修を考えている人は, 医療経済学Aを必ず先に履修してください。						

(10)質問,相談への対応	個別の質問は, オフィスアワーに研究室に来てください。オフィスアワーが無理な場合には, 事前にメール (masuhara@shinshu-u.ac.jp) でアポイントメントを取り, 来室してください。
【教科書】	特に指定しない
【参考書】	細谷圭・増原宏明・林行成, 医療経済学15講, 978-4883842841, 新世社, 2018年, 2,592円。 棕野美智子・田中耕太郎, はじめての社会保障〔第22版〕: 福祉を学ぶ人へ, 978-4641222496, 有斐閣, 2025年, 1,980円。 井伊雅子, 地域医療の経済学: 医療の質・費用・ヘルスリテラシーの効果, 978-4766429589, 慶應義塾大学出版会, 2024年, 3,300円。